

投資者の皆様へ

2016年2月12日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2016年2月12日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、以下のファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び下落率(2月12日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	5,861	▲480	▲7.57
日本小型成長株ファンド(愛称:跳馬)	9,107	▲736	▲7.48
SBI 日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	8,796	▲716	▲7.53
中小型成長株ファンドーネクストジャパニー(愛称:jnext)	14,831	▲957	▲6.06
中小型成長株ファンドーネクストジャパニー (年2回決算型)／愛称:jnext II	8,388	▲526	▲5.90
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)	23,059	▲1,456	▲5.94
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型)／愛称:jrevive II	8,913	▲566	▲5.97
中小型成長株ファンド ジェイスター	8,582	▲581	▲6.34

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

前頁記載のファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントは以下の通りです。

2016年2月12日の国内株式市場は前営業日に引き続きほぼ全面安の展開となり、これを受けて弊社助言ファンドの基準価額も前日比5%以上の下落となりました。今回下落の発端は欧州金融機関の信用不安でしたが、その後11日の米連邦準備理事会(FRB)のイエレン議長の議会証言を受け、米国の利上げ観測が後退して円高が一気に進んだことに加え、米国株式市場が2年ぶりの安値を付けたことや、原油価格が12年9カ月ぶりの安値を付けたことなども水を差す格好となりました。確かに急激な円高は輸出企業を中心に収益の圧迫要因になり得ますが、東証1部全銘柄の株価純資産倍率(PBR)は企業の解散価値である1倍に迫り、株価収益率(PER)も14倍台にまで低下していることを踏まえると、現在の経済ファンダメンタルズ(基礎的条件)に比して行き過ぎの感があります。

12月決算企業の通期決算や、3月決算企業の第3四半期決算の発表がピークを迎えています。組入企業の決算内容はおおむね想定線で推移しています。また、上場企業全体に目を向けても、2016年3月期業績は経常利益で増益を確保する見込みで、米国、ドイツ、中国の企業に比べて底堅さを見せています。実際、日経平均株価が大きく下げた中でも、好決算を発表した組入企業のなかには株価が逆行高するケースもあり、好業績を素直に評価する動きが見られます。もちろん、好業績を発表しながら株価が芳しくない企業も数多くあり、これらは好業績銘柄を割安な株価水準でファンドに組入れる好機となっています。したがって、株式市場全体が大荒れの局面こそ普段と変わらぬペースで調査をし、普段と変わらぬ観点で企業を丁寧に評価し続けていますので、受益者の皆様にはご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 1.0%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬[※] 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。